

平成30年北海道森づくり研究成果発表会について

企画調整部普及グループ 主査（普及）渡邊 基

平成30年4月19日（木）、札幌市の北海道立道民活動センター「かでの2・7」において、平成30年北海道森づくり研究成果発表会を開催しました。

この発表会は森林整備や木材利用に関する研究成果、地域での技術の普及や活動事例の紹介などを通じて、本道における森づくりや木材利用に関する知識を深め、技術の向上を図ることを目的として、道総研森林研究本部と北海道水産林務部との共催で毎年開催しています。

今年は、行政機関や民間企業等の一般発表を5課題（口頭4、ポスター1）、森林研究本部の研究成果として、林業試験場と林産試験場の課題をテーマ毎（①針葉樹人工林の循環利用を進める研究/②トドマツ人工林における環境に配慮した森林施業に関する研究/③広葉樹資源の把握と用途拡大に向けた研究/④森林資源の利活用と管理に関する研究）にまとめた口頭発表を11課題、ポスター発表は両試併せて19課題（共同発表を含む）の発表を行いました。

このほか、クリーンラーチコンテナ幼苗の実物展示、模型等も使ったCLT関連技術の紹介をはじめ、北海道水産林務部による林業普及活動を紹介する写真展も同時に開催しました。

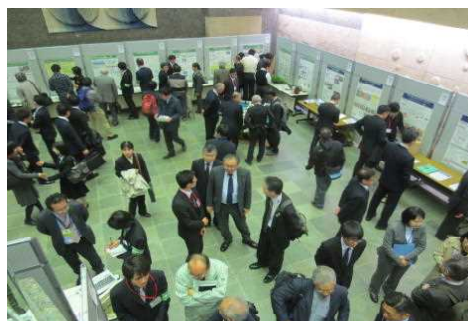
また、発表者と来場者が直接意見を交わすことができる「コアタイム」（12:30～13:30、15:45～16:15）では、ポスター会場に設置した展示物やパソコンの動画データ等も見ながら、熱心な意見交換が行われました。

当日は個人での参加を含め、林業・木材産業関連企業や団体、行政機関等を含めて451名の方々にご来場いただき、多くの質問や貴重なご意見をいただくなど、研究成果に対する関心と実用化に向けた期待の高さを感じることができました。

本号では、当日の発表のうち、林業試験場（共同発表を含む）の口頭・ポスター発表全15課題について特集しますので、ぜひご一読ください。



口頭発表の様子（かでのホール）



ポスター発表の様子（展示ホール）



林業普及活動の写真展（展示ホール）



コアタイムでの意見交換（展示ホール）